

【賛美】

●「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【祈り】

● 必要のため ○○さんの癒しのために、○○さんの救いのために

● 教会の祈りの課題と目標

- ・8月2-5日 世界 RT 大会のために
- ・8月11-12日 東北中高修練会(大船渡教会)
- ・8月11-13日 夏の子供合宿(四日市教会)
- ・8月15-17日 四日市伝道キャンプのために
- ・8月15-17日 日本中高合宿(東京インマヌエル教会)
- ・8月15-17日 東北地方伝道キャンプ
- ・8月22-25日 中高ビジョンキャンプ(防府教会)

【メッセージ】「神の国の喩」 マタイ13:1-9

序論:マタイの13章はイエス様が喩で語られたみことばです。

マタイによる福音書の記録が主題別に記録されているとすればマルコ、ルカ、ヨハネによる福音書はイエス様の誕生から時間的な順序通り記録されています。

なぜ、イエス様は喩でみことばを語られたのでしょうか？

喩で語られた理由は神様が選ばれた者だけが理解して信じることができるようにしてくださったためです。イザヤ6:9-10に預言されており、マタイ13:11に神様の子供に分かりやすいように喩で語られたとあります。

今日の本文はマタイ13章に出てくる7つの喩の中のひとつである種蒔きの喩についてみことばを分かち合いたいと思います。

1. 種蒔きの喩(マタイ 13:1-9)

“種”= みことば、いのち、福音(イエス様だけがまことの道であり、真理であり、いのちです/ヨハネ 14:6) 悪魔はこれを信じられないようにします。宗教にはいのちがないばかりか宗教ではいのちを得ることができません。(釈迦、孔子、マホメットなど)

(1) 道端に蒔かれた種(マタイ 13:4)

1) マタイ 13:4(鳥が来て食べてしまった)

2) マタイ 13:19(悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪っていきます。)

3) マルコ 4:15(すぐサタンが来て、彼らに蒔かれたみことばを持ち去ってしまうのです。)

4) ルカ 8:12(悪魔が来て、彼らが信じて救われることのないように)

5) 悪いもの、サタン、悪魔がみことば(福音、いのち)を得ないように(悟れないように)する。

(2) 岩地に蒔かれた種(マタイ 13:5-6)

1) マタイ 13:6(日が上ると、焼けて、根あないために枯れてしまった。)

2) マタイ 13:20-21, マルコ 4:16-17, ルカ 8:13(みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れるが、困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまう者)

3) マタイ 5:1-10 “8つの幸い” マタイ 5:10(義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。)

4) 聖徒の困難、迫害は祝福です。(マルコ 10:29-30)

例) 中国: 毛沢東/教会迫害

政府の操り人形(三自愛教会)多くの牧会者たちが投獄

例) 韓国: 神社参拝, 共産主義の教会迫害(投獄)

例) チャンヨンチュル(牧師): 両親の迫害(従軍牧師/将校)

例) 初代教会: 投獄, 死刑~しかし、より福音が拡散されていきました。困難、迫害は私たちが強くするためであり、最終的に全てを生かすためです。

(3) いばらの中に蒔かれた種(マタイ 13:7)

1) マタイ 13:22(この世の心づかい、富の惑わしがみことばをふさぐ)

2) マタイ 6:25:32(衣食住の思い煩いがみことばをふせぐ)

—クリスチャン(ロックフェラー、ワナメイカー)として物質の祝福を受けた者たちの特徴はイエス・キリストが来られて罪、サタン、神様から離れた問題を解決されて、私たちの生活の問題をも全て解決してくださったため(ローマ 8:28)ただ福音を味わい、福音により答えが出た者たちでした(詩編 139:1-10/生死禍福の主管者)

3) マルコ 4:19(その他いろいろな欲望が入り込んで、みことばをふさぐ)

4) ルカ 8:14(みことばを聞きはしたが、とかくしているうちに、この世の心づかいや、富や、快樂によってふさがれて)

(4) 良い地に蒔かれた種(マタイ 13:8)

1) マタイ 13:23(みことばを聞いて、それを悟る人のことで、その人は本当に実を結びあるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます)

2) マルコ 4:20(みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです)

3)ルカ 8:15(正しい、良い心でみことばを聞くと、それをしっかりと守り、よく耐えて、実を結ばせるのです。)

4)実(献身,伝道,クリスチャンとしての生活,神の国の拡散)

2.どのようにすれば良い地になるのでしょうか？

良い地になる前に種にいのちがなければなりません。

生命力(種=みことば,福音=信仰)

(1) I ペテロ 1:23(朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生けるいつまでも変わることのない神のことばによるのです。)

(2)ヨハネ 15:5(イエス様につながっていれば大丈夫です)

イエスがキリスト(カルバリの山/ヨハネ 19:30)であられることを信じればいいのです。キリストの中に箱舟の中に入れて大丈夫です。
私の力するのは宗教です。

(3)マタイ 7:7-11(求めなさい。捜しなさい。たたきなさい。)

(4)ルカ 11:13(聖霊の働きで実を結ぶ)

(5)イザヤ 32:15(上から霊が私たちに注がれ、荒れ野が果樹園となり、果樹園が森とみなされるようになる。)

(6)ヘブル 12:14(平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることができません。)

(7)ヘブ 12:15(苦い根が芽を出して悩んだり、これによって多くの人が汚されたりすることがないように/まことの悔い改め)

(8)エゼキエル 11:19(新しい霊を与える。わたしは彼らのからだから石の心を取り除き、彼らに肉の心を与える)

(9)マタイ 13:8(30倍,60倍,100倍の実を結ぶ)

1)私たちが良い地として選んでくださってイエスがキリストであられることが信じられるようにして下さった。

2)みことばにつながっていなければなりません。

3)信仰、祈り、礼拝の生活に勝利しなければなりません。

結論:マタイ 13:44-46(天国/神の国を発見することです)

1)畑に隠された宝、良い真珠 -福音

2)福音にオールイン(十分、全部、満足)

3)これが最高の成功であり、幸せです。

4)伝道者の生活

¥-

【メッセージ】「山上の垂訓の目的」 マタイ7:15-27

序論:マタイの福音書はサタンの国を崩して神の国を立てるためにキリストが真の王として来られました。

{7つの比喩(マタ 13:1-50)}

1)種蒔きの喩え

2)毒麦の喩え

3)からし種の喩え

4)パン種の喩え

5)宝の喩え

6)真珠の喩え

7)地引き網の喩え

1.マタイ 5章

(1)8つの幸い(良い地)

(2)マタ 5:44-48(敵を愛する,迫害する者のために祈る)

2.マタイ 6章

(1)マタ 6:19-34(二人の主人に仕えることはできない)

(2)マタ 5:8(心のきよい者)

(3)マタ 6:25-34(心配するな),マタ 6:33(良い土,肥えた土)

3.マタイ 7章

(1)マタ 7:7-11(良いものを下さる)

(2)ルカ 11:13(聖霊を下さる)

(3)イザ 32:15(霊が注がれる)

1)種(み言葉,命,福音)

2)雨(聖霊)/讚美歌 日:172(韓:183)

3)畑(自分の心)

(4)マタ 5:6(義に飢え渴く者)

(5)エゼ 11:19

(6)ヨハ 12:24(豊かな実を結ぶ)

(7)マル 10:29-30(100倍の祝福)

(8)ガラ 5:22-23(御霊の9つの実)